

きもつき119

管内の人口

146,476人 平成25年10月1日（現在）

| | | |
|--------|--------|--------|
| 男 | 女 | 世帯数 |
| 69,497 | 76,979 | 69,693 |

編集・発行 大隅肝属地区消防組合
TEL 0994-43-1188



消すまでは
心の警報 ONのまま

平成25年11月

第83号

第42回全国消防救助技術大会（広島市）
ロープブリッジ渡過に出場
野尻消防士長（東部消防署）



第17代消防長 谷口義昭



四月一日付で大隅肝属地区消防組合消防長に就任致しました。どうぞよろしくお願い致します。さて、今日の消防を取り巻く社会情勢の変化は著しく、災害も複雑かつ多様化してきております。平成二十四年度には、管内においても局地的な豪雨による自然災害が発生しましたが、人命的被害はなく安堵いたしました。県外の災害に目を向けてみますと、異常気象によりもたらされた九州北部豪雨をはじめ、化学校場の爆発事故など専門的な知識を必要とする現場が増加し、住民から消防に寄せられる期待は益々大きくなってきております。

これら的情勢を踏まえ、消防職員が住民の負託に応えられるよう、各種の災害・火災に対応するため、更なる消防技術の研鑽をし、予防査察・建築確認等の予防知識の向上を図り、消防に課せられた「安心して暮らせる安全な町づくり」の実現に向け職員一丸となり取り組みたいと考えております。

今後とも皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。



①鹿屋市輝北町
有田克巳(23歳)



①肝付町
倉佳士(24歳)



①鹿屋市上野町
村田竜太郎(24歳)



①千葉県
亀山勇太(24歳)

②住民の方に信頼され、力になれる消防士になれるよう努力していきたい。

②消防に関する知識と技術を学び、地域の方から信頼されるよう努力したい。

②地域の方々の安全を守るために日々の訓練に励み、信頼される消防士になりたい。

②一日でも早く地域住民の方々に信頼していただけるように日々精進したい。



①鹿屋市川西町
壱崎竜平(21歳)



①鹿屋市上谷町
内杉聰(22歳)



①肝付町
奥俊貴(22歳)



①鹿屋市白水町
松元勝志(22歳)

②日々の訓練に励み一日でも早く地域の皆様に貢献できるよう精進します。

②精一杯努力し、地域住民の方々から、信頼してもらえるように頑張ります。

②少しでも早く立派な消防士になり、地域住民のため役立てるよう努力します。

②体力・知識・技術の練磨に努め、住民の方々に信頼されるよう努力していきたい。



①鹿屋市吾平町
南大嗣(19歳)



①南大隅町
橋口俊彦(19歳)



①鹿屋市西原
永田裕貴(20歳)



①肝付町
小園純平(20歳)

②小学生の頃から消防士になるのが夢でした。地域に貢献できるように頑張ります。

②地域住民の生命・身体・財産を守るためにしっかりと勉強や訓練に取り組みたい。

②地域住民の役に立てるよう、何事にも全力で取り組み頑張ります。

②念願の消防士になりました。住民から信頼されるような消防士になりたいです。



新消防職員紹介

平成二十五年度十五人の新人消防士が加わりました。
皆様の身近な消防職員として覚えてください。
①出身地 ②抱負 ※年齢は採用時のものです。
※今年度は四月採用十二名・十月採用三名でした。



▲中央消防署の大型車両



①曾於郡大崎町
米永勇貴(23歳)



①宮崎市
黒木勇輝(23歳)



①鹿屋市串良町
中水流徹(24歳)

(10月有資格者採用)
②消防士として地域の方々に安心して生活してもらえる町づくりに貢献したい。

(10月経験者採用)
②大隅肝属消防管内の現場に早く出動し、管内住民の安全安心を守りたい。

(10月経験者採用)
②消防士として、生まれ育った町のために貢献できるように頑張ります。

鹿児島県ドクターヘリ運航について



平成24年中の年間出動件数は**565件**ありました。その内、大隅肝属地区消防組合管内（鹿屋市、東串良町、肝付町、錦江町、南大隅町）では**58件**の出動要請を行い、現場から病院収容までの時間短縮に大いに貢献しています。



ランデブーポイント(離着陸場)とは

- ①傷病者（患者）を乗せた消防機関の救急車とドクターヘリが合流・連携し、早期救命治療等が実施される場所をいいます。
- ②大隅肝属地区消防組合管内のランデブーポイントは、**122箇所**を確保しています。

ドクターヘリ運航にご理解とご協力をお願いします。

- ①離着陸の際は、学校のグラウンドや公園などの利用を**一時中断**していただきます。
- ②ドクターヘリが離着陸する場合には、**騒音や砂ぼこり**が発生しますので、ご注意ください。また、消防職員等の指示に従っていただくとともに、近づかないようにしてください。

平成25年度
危険物安全週間推進標語

あなたこそ
安全事故を
担う
司令塔



《講習風景》

東部消防署では「危険物安全週間」に伴い給油取扱所（ガソリンスタンド）関係者を対象に、訓練を実施しました。危険物に対する防災意識の高揚と啓発のために、危険物の取扱い及び危険物にかかる事故事例を交えた講話、消火、通報及び避難誘導訓練などの防災研修会を実施しました。

危険物安全週間

**ガソリンスタンドから
火災を起こさないために**



《訓練参加者》

平成2年1月十九日に消防庁により、毎年六月の第二週の一週間（日曜日から土曜日まで）と定められました。これは、気温が高くなり危険物の自然発火による火災が多くなる夏季を目前にした、六月初旬に啓発活動を行うためです。

危険物安全週間とは、石油類をはじめとする危険物の事業所における自主保安体制の確立を呼びかけるとともに、広く国民に危険物に対する意識の高揚と啓発を図る週間です。



《消火・避難誘導訓練》





第十九回 救急フェア開催

最優秀賞
・ショートステイ
・いきいき館
優秀賞
・ゲループホーム
・おぐら病院



消防功労者表彰

平成二十五年八月十一日

津波だ!

鹿屋市吾平町で発生した建物火災で、現場近くで作業をしていた神田政俊さんと矢尾拓人さんが異音と異臭に気付き、確認に行つたところ近くを通りかかった入佐六男さんと一緒に火災を発見。近くにあつた水道でバケツに水を溜め、数回水をかけて消し止めました。

一日（日）第十九回救急フェアをプラッセだいわ鹿屋店で開催しました。

消防車両展示や消防音楽隊演奏、応急手当コンテストなどが行われ大勢の観覧客でにぎわいました。応急手当コンテストには管内の様々な職種の九チーム十八名が参加し、通報・心肺蘇生法・AED装着など迅速確実な応急手当の手技を競いました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

内之浦小学校では、四月十九日（金）大津波を想定した避難訓練を実施しました。

校庭への避難後、十五メートルの津波が二十五分後に到達するという想定。近くの山（叶岳）まで、「より早く！」

より高く！より遠くへ！」の合言葉で、五百五十五段の階段を上学校年と下学校年がペアを作り、十五分二十秒で、全員無事避難を達成しました。

学校が休みの時には、どこが安全な避難場所であるかも学んだ津波避難訓練となりました。

今年の夏は暑かつたですね。そんな記憶も遠く忘れてしまいそうな朝夕の肌寒さ、そろそろストーブなどの暖房器具の準備を考えているのではないかでしょうか。

物置や押入れからそれらを取り出し使用する際に、ちょっと確認しておきましょう。



冬が来る前に!

ヒーターなどの電気器具のコードやコンセントに変形や劣化は無いですか？ 電気配線からの火災も考えられます。



★暖房器具を使用する際は燃えやすいものを近くに置かないなど、整理整頓された場所に置きまし

う。 平成二十四年の火災統計では、死者の発生した火災のうち、ストーブを原因とするものが、「第三位」となっています。

※干していた洗濯物がストーブに落ちて出火
※給油した後、キヤップが閉まっておらず灯油がこぼれて出火
※間違ってガソリンを給油して出火

中にはストーブの近くに置いてあつた缶スプレーが爆発・・・なんて事例も。

特に高齢者はおつこうになつて、動かなくていよいよに身の回りに物を集めがちになります。その中にはストーブやヒーター、あるいは布団や衣類などがあるかもしれません。お部屋の片付けは防火の第一歩かもしれませんね。